

## 平成27年度 びわこ文化公園都市(仮称)スポーツ・健康づくり拠点等 調査検討の結果概要について

### 1. 調査検討の目的等

びわこ文化公園都市は、文化、芸術、医療、福祉、教育等の多様な施設が集積する地域であり、国体主会場の選定にあたり、将来のスポーツ推進に向けた活用方法を検討するよう付帯意見があった。

そこで平成27年度において、びわこ文化公園都市の強みを活かした、スポーツ・健康づくりに関する拠点施設(以下「拠点施設」という。)の立地可能性について調査検討を行った。

拠点施設の調査対象地は、保安林に該当しないこと、及び市道に接していることから、滋賀医科大学南側の滋賀県土地開発公社所有地(11.2ha)とした。

### 2. 課題

#### ①開発、整備に係る関連法令規制

- ・都市計画(用途地域)見直し、各種許可申請が必要。

#### ②交通アクセス

- ・自動車利用の場合、高速道路からの利便性に優れるが、市街地からのアクセス向上が必要。
- ・JR駅から一定の路線バスの便数はあるが、さらなる充実が必要。

#### ③埋蔵文化財

- ・埋蔵文化財包蔵地(隠小谷遺跡<sup>かくれこだに</sup>)を一部含むため調査が必要。

#### ④土地の条件

- ・切土・盛土の土量バランスや施設の配置に配慮が必要。

### 3. 評価：立地による効果

- スポーツ・健康づくり拠点としての利用
- 防災拠点施設としての利用
- 交流人口の増加
- 大学等との産学官連携事業の展開
- びわこ文化公園都市全体の活性化

課題はあるものの、拠点施設の整備は、利用・交流人口を増加させ、立地施設の機能の活用を促進し、地域全体の価値や魅力の創出につながるものであり、この地域にふさわしい施設と考えられ、十分に立地可能性がある。

さらに、拠点施設だけでなく、びわこ文化公園都市全体を視野に入れ、面的にスポーツ・健康づくり拠点として機能発揮を図っていくことが望ましいと考えられる。

#### 4. 拠点施設の検討、概算事業費（試算）

拠点施設として、多様なスポーツや各種イベントに利用可能で、交流人口の増大が最も期待でき、さらに防災拠点施設としても利用できる「体育館」を検討対象とし、整備規模の異なる2案を試算した。

##### ○A案（施設用地 51,000 m<sup>2</sup>）

導入施設： 体育館・多目的広場・将来施設用地・駐車場・調節池

概算総事業費（試算）

93.4 億円（体育館 68.6 億円、造成等 19 億円、その他 5.8 億円）

##### ○B案（施設用地 39,700 m<sup>2</sup>）

導入施設： 体育館・将来施設用地・駐車場・調節池

概算総事業費（試算）

88.9 億円（体育館 68.6 億円、造成等 14.6 億円、その他 5.7 億円）

#### 5. 想定スケジュール

平成 28 年度～平成 31 年度： 調査、計画・設計、協議等

平成 31 年度～平成 34 年度： 造成工事、建築工事等